

お写落日記 2024 年 2 月

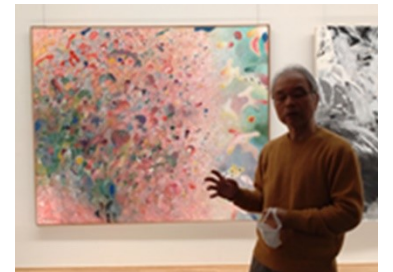
野本 浩一@20240227

【バレンタインチョコレートなど縁は無し 絵画鑑賞チョコッと幸せ】

2月14日(水)世間がバレンタインデーと言う中、どこから届くチョコも無ければ、自分用に購入するというチョコも無かった。チョコッとあったのは、馴染みのお魚屋さんの店主・斉藤さんの絵画を鑑賞しようという気持だった。ということで大田区立龍子記念館で開催されている「川端龍子の作品とともに観る大田区美術家協会の現在」展(2月10日～3月3日)に出向いた。

シニアは65歳以上は無料(要証明書提示)なので、いつも通り感無量気分に入る。

事前に斉藤さんから頂いた作品紹介のコピーを手により目散で作品に向かう。オー、おー、所狭しと展示されている中にしっかり見つける。



162.0×194.0cm
(ご本人曰く、「一ヶ月かけて描き上げたよ」と)



斉藤進 《再生》 2016 年

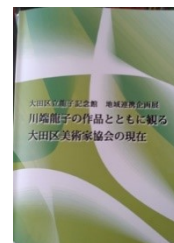
作者コメント「水は宇宙の根源であり、万物は水からつくられ、究極には再び水に戻ってきます。自然現象の大半は水なくして生じえない、同じように生命もまたすべてが水と関係し、人間にとって水は不可欠のものです。…少しでもこの絵を見た人が、エネルギーと勇気を感じ、元気になっていただければ幸いです」

しっかりエネルギーを貰いました。というのも行きはバスで西馬込駅まで行って記念館へ向かいましたが、帰りは散歩がてら歩いて自宅へ帰りました。

2月24日、お店に出向き14日に購入して預けていたパンフレットにサインを頂きました。

さらにご本人曰く「魚屋は副業なんだよ。本当は芸術家なんです、ワタシは。また次の展示会があるから覗きに来て下さいよ」

美味しいお魚をお客が喜ぶ値段で提供し、お刺身盛り合わせは注文が殺到する斉藤さんの店「魚重」は、我々にとっては有難い所です。これからも元気で活躍して、副業を続けてもらいたい(鯛)です。ボクも頑ブリ(鰯)マス(鱒)。



それぞれに皆が楽しむ二刀流 人生楽しむ流儀となりぬ
チョコレートもらうことなき身になれど

元氣は貰ういろんな人に
歳重ね無料となる事多くなり 有難き金有難き哉